

催し物のご案内

●野外観察「身近な自然発見講座」

[博物館周辺]
日時/①4月18日(水) ②5月16日(水)
③6月20日(水) 各10:00～15:00
対象/どなたでも
申込締切/当日受付

●野外観察「里山の草花～春編～」

[横浜市内]
日時/4月14日(土) 10:00～15:00
対象/小学4年生～大人 30人
申込締切/3月27日(火)

●野外観察「磯の生きものウォッチング」

[三ツ石海岸(真鶴町)]
日時/①4月22日(日) 10:00～15:00
②6月24日(日) 11:00～16:00
対象/小学生とその保護者 各回40人
申込締切/①4月3日(火) ②6月5日(火)

●講義と室内実習「植物図鑑の使い方～この木何の樹?気になる花しらべ～」

[博物館]
日時/4月28日(土) 10:00～15:00
対象/小学4年生～大人 15人
申込締切/4月10日(火)

●野外観察「足柄層化石ウォッチング」

[用沢～谷ヶ(山北町)]
日時/4月29日(日) 10:00～15:30
対象/小学生～中学生とその保護者 30人
申込締切/4月10日(火)

●講義と室内実習「イネ科植物入門」

[博物館]
日時/4月30日(月・振) 13:30～15:30
対象/中学生～大人 24人
申込締切/4月10日(火)

●野外観察「春の地形地質観察会」

[河村城址周辺(山北町)]
日時/5月3日(木・祝) 10:00～15:00
対象/小学4年生～大人 40人
申込締切/4月17日(火)

●野外観察「水辺の動物ウォッチング」

[川音川(松田町)]
日時/5月26日(土) 10:00～14:00
対象/小学生とその保護者 30人
申込締切/5月8日(火)

●講義と室内実習「スゲ属植物の分類～ホンモンジスゲ類～」

[博物館]
日時/6月2日(土) 10:00～15:00
対象/高校生～大人 24人
申込締切/5月15日(火)

●講義と室内実習「菌学事始め～中級編～」

[博物館]
日時/6月23日(土)・24日(日)
10:00～15:00
対象/高校生～大人 15人
申込締切/6月5日(火)

●野外観察「海辺の野鳥観察会」

[照ヶ崎海岸(大磯町)]
日時/7月7日(土) 8:30～10:30
対象/未就学児～中学生とその保護者 30人
申込締切/6月19日(火)

企画展

「学芸員の活動報告」

4月21日(土)～5月27日(日)

博物館の学芸員や外来研究員など、博物館に集う人たちの活動の様子や成果を紹介します。

企画展観覧料：無料(常設展は有料)

ミュージズ・フェスタ2012

3月17日(土)・18日(日)

ミュージズ・フェスタは、博物館の開館記念日を祝うお祭りです。子どもも大人も楽しめるイベントですので、どうぞ皆さまお気軽にお越しください。

参加費：無料(常設展は有料)

平成23年度

「子ども自然科学作品展」

3月24日(土)～4月8日(日)

小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡の小・中学生の皆さんによる、日頃からの研究の成果を展示します。

作品展観覧料：無料(常設展は有料)

子ども自然科学ひろば

「よろずスタジオ」

3・7・8月を除く毎月第3日曜日
13:00～15:00

さまざまな実験や観察を通して、子どもたちが自然科学を身近に感じられるイベントです。※友の会との共催です。

折り紙ひろば

1月を除く毎月第1日曜日 13:00～15:00
学習指導員と一緒に、折り紙でさまざまな恐竜を折ります。

催し物への参加について

講座名、開催日、代表者の住所・電話番号、申込者全員の氏名・年齢を明記の上、往復はがきにて郵送、または博物館ホームページからお申込ください。応募者多数の場合は抽選となります。抽選で落選した方に対し、キャンセル待ちの対応を行います。ご希望の方は、お申込時に、その旨をご記入ください。参加費は無料ですが、講座により傷害保険(1人・1日50円)への加入をお願いすることがあります。小学3年生以下の場合は、保護者の付き添いをお願いいたします。野外観察は雨天中止です。

問合せ先

神奈川県立生命の星・地球博物館
企画情報部企画普及課
所在地 〒250-0031 小田原市入生田 499
電話 0465-21-1515
ホームページ <http://nh.kanagawa-museum.jp/>

ライブラリー通信

北九州高校 魚部

おおさわすみこ
大澤澄子(司書)

福岡県北九州市にある福岡県立北九州高等学校には、魚部という部活動があります。「さかなぶ」ではありません。「ぎよぶ」です。福岡県内を中心に、河川やため池、干潟の魚や水生昆虫、両生類、エビ、水草、貝などを調査しています。

魚部ホームページ「魚部って?」によると、1998年、部員のいなかった理科部にいわゆる「帰宅部」の生徒たち約10名が集まったそうです。文化祭で理科部として企画展示をしようじゃないか、と。何をするのか。北九州市を流れる紫川。そこにすむ魚はどれだけいるのだろう? 知っている人って実はほとんどいないんじゃないの? それを見せる展示「紫川の魚展」をやろう! となりました。そこから「魚ばかり採っているオレたち」。魚の部活すなわち魚部という呼び名が生まれたそうです。

2001年から北九州市立水環境館で展示。市内の小中学校でゲストティーチャー。2008年、第10回日本水大賞文部科学大臣賞受賞。『北九州の干潟BOOK』『福岡県の水生昆虫図鑑』『紫川大図鑑』など本も発表してきました。魚部ホームページによると「第1の活動目的は、知ること。どこか遠くの大自然ではなく、高校生たちが生活する地域の自然の現状を、楽しみながら知ること。そして第2の活動目的は、伝えること。調査で知ったことを様々な形で広く市民に伝え、同時にその生物のために役立てること」。なるほど魚部の地元、北九州市は大都市で、明治時代に官営八幡製鉄所が置かれた工業地帯でした。自然の多様さを調査し、守っていくのはたいせつなことです。

魚部の本を見ると、生徒たちは「魚部スーツ」という胴長靴を着て網を持ち、和気あいあいと川辺で調査しています。楽しそうです。加えて、顧問の井上大輔先生の尽力ほか、当博物館の荻部治紀学芸員など水辺の自然に魅せられたおとなたちの助けを得て、魚部の活動は広がっていきます。魚部の皆さんには、いつまでも楽しく自然のなかで活躍して行ってほしいですね。